

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町 1 番 10 号 住友精密工業(株)本社内
TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

平成 30 年度技術・標準化合同委員会を開催

平成 30 年 6 月 20 日 (水) 14:00 から 16:30 まで、技術委員会と標準化委員会との合同で技術・標準化合同委員会を開催しました。本合同委員会の議長は、標準化委員会委員長である当工業会会長が務められることになっており、新任の石川会長により全体の議事が進められました。

初めに石川会長の開会の挨拶あり、以下のような趣旨のお話がありました。「ご承知の通り、油圧、空気圧、水圧に関する JFPS (工業会規格)、JIS (日本工業規格)、それから ISO (国際標準) の制定に関して、この委員会とその傘下の 22 の各分科会で規格案を検討し、国および ISO 等の場で議論し制定してきております。



技術・標準化合同委員会

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

技術・標準化合同委員会開催	1	広報・PR 事業	5
委員会開催・活動状況		中小企業関連事業	6
国際交流事業	2	振興対策事業	6
標準化事業／ISO 対策事業	3	会員ニュース	6
標準化事業／規格事業	4	今後の主要行事予定	7
技術調査事業	4	統計資料	10

(一社) 日本フルードパワー工業会
URL : <http://www.jfpa.biz/>

ここにおられる専門家の方々には、釈迦に説法でしょうが、私は、標準化の基本的な意義には、①互換性・相互接続性の拡大、②市場の拡大、③低コスト化・調達の容易化、④技術の普及、⑤品質・安全の向上、などがあると思います。

特に最近では、市場の拡大と、その市場に各国各社製品を多く浸透させるという隠れた目的をもって、国標準化競争が行われていると聞いております。このあたりのことを十分考慮して、我々もフルードパワー業界の発展のために、標準化作業を進めていかなければならないと思います。

本日は、昨年度の活動結果と今年度の計画の審議ですが、ISO での場でどのような議論がなされているのか、ご苦労されているのかを併せてご報告頂ければ、他の部会の方々にも参考となると思いますので、よろしくお願い致します。」

次に、安木技術委員会委員長から以下のようなご挨拶がありました。「昨年度は私自身工業会としての活動に十分な参画できておらず、不慣れな点を含めてご迷惑をおかけしたのではと反省しております。今年度は実用ポケットブック改訂なども計画されておりますので、当工業会発展のために、会員企業皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。」

次に参加各委員による自己紹介が行われ、その後、事務局より、配付資料の確認、技術・標準化委員会の構成、委員登録について説明を行いました。続いて、技術委員会の活動報告に移り、安木技術委員長の司会で、技術委員会傘下の油圧部会、空気圧部会、水圧部会及び空気圧特許分科会の順で平成 29 年度活動実績及び平成 30 年度活動計画の内容説明が行われ、審議の結果特に異議なく承認されました。

次に、石川会長の司会に戻り、標準化委員会傘下の ISO 国内対策部会及び規格部会の平成 29 年度活動実績並びに平成 30 年度活動計画の内容説明が行われ、審議の結果、こちらも特に異議なく承認されました。引き続き、両部会傘下の 22 の分科会について各主査より平成 29 年度活動実績及び平成 30 年度活動計画について説明があり、こちらも滞りなく報告・審議が行われ、特に異議なく承認されました。また、工業会から若手技術者懇談会のこれまでの活動実績の報告、油圧・空気圧実用ポケットブックの改訂について経緯、進捗状況等の説明を行いました。

最後に、石川会長から各委員への慰労の言葉によって会議を終了しました。

当日の会議には、石川会長以下 24 名の委員が参加され、会議終了後、石川会長を囲み懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会しました。



挨拶をする石川会長

委員会開催・活動状況報告
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~

国際委員会及び講演会

日 時 6月18日(月) 15:00 ~17:00

場 所 機振会館 6F 6D-3 会議室

出席者 12名

事務局 藤原、堀江

議 事

定刻に専務理事から開会の挨拶があり、その後、内閣府個人情報保護委員会事務局企画官・石井純一様及び参事官補佐・中村和正様を講師として「EU 一般データ保護規則(GDPR) について」のテーマで講演会を開催した。



講演会風景

事務局から平成 29 年度の事業報告案と平成 30 年度の事業計画案について説明を行い審議の結果、事業報告及び事業計画は承認されました。なお、平成 30 年度事業計画のうち「海外見本市へのカタログ共同出展事業への参加の可否について」の事前のアンケート調査結果では、PTC -

ASIA2018 の共同出展予定社は 1 社のみ、MDA - INDIA は今年度開催がなく、事務局案をとして今年度は参加見送りを提案し了承を得た。

隔年で実施しているハノーバーメッセ研修視察団については、アンケート調査結果 9 社 12 名以上の参加検討の回答を頂き、2019 年ハノーバーメッセ視察団の参加を検討することとした。

その後、各委員から最近の海外事情や海外市場動向等について報告並びに討議が行われたのち会議は終了しました。

次回開催：12 月の予定

~~~~~  
標準化事業／ISO 対策事業  
~~~~~

平成 30 年度技術・標準化合同委員会

日 時 6 月 20 日(水)、14：00～16：30

場 所 機械振興会館 6D-4 会議室

出席者 石川会長以下 24 名

事務局 前畑

議 事 (1 頁参照)

空気圧コンタミ分科会

日 時 6 月 15 日(金) 13：30～16：30

場 所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 三浦主査以下 7 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、主査より 5 月 8～9 日にイギリス・ワシントンで開催された ISO/TC118/SC4/WG1 国際会議の報告がなされた。ISO 8573-2 の発行報告、DIS 投票に掛かっていた ISO 8573-4 の投票結果およびコメント審議、ISO 8573-5 の草案説明、に関して討議されたとのこと。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。各規格について最新版への差し替え、不鮮明な図表の修正、同義語の用語統一等の意見が出され、各委員からの意見を集約し本分科会のまとめとすることとした。

次回開催：2019 年 2 月 15 日(金)機械振興会館

油圧システム分科会

日 時 6 月 22 日(金) 13：30～16：30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 町田主査以下 8 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、先月 (5/14-19) 開催された ISO ロンドン国際会議について報告があった。

特に、SC1/WG1 (図記号・回路図) において、ISO/SR 1219-1 については、日本提案の原理的なシンボルの追加は既存のシンボルにて応用可能との理由により却下された。また、ISO/SR 1219-1 については、一部日本提案は合意された。その他関連内容を確認し情報共有した。

次いで、主査より先月 (5/28) 開催された平成 30 年 JIS 公募ヒアリングについて報告された。特に大きな指摘はなく、申請通り本年 8 月開始にて着手することが承認された。

次いで、主査より先日 (6/20) 開催された平成 30 年度技術・標準化委員会について報告があり、昨年度活動実績及び今年度活動計画が承認されたとのこと。

次いで、JIS B 0125-1 (油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第 1 部：図記号) の改正について討議した。前回に引き続き原案修正作業を実施した。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。バルブ全般の新規情報への更新、別紙で発行されている正誤表を盛り込む等の意見が出され、各委員からの意見を集約し本分科会のまとめとすることとした。

次回開催：8 月 21 日(火) 機械振興会館

空気圧システム分科会

日 時 6 月 27 日(水) 13：15～16：15

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 増尾主査以下 7 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、空気圧システムのリスクアセスメントガイドブックについて、最終校正及び印刷が終了し、発行されたとの報告があった。

次いで、先月 (5/14-19) 開催された ISO ロンドン国際会議について報告があった。特に、SC9/WG2 (空気圧システム) において、以前から日本が提案していた空気圧エネルギー効率について 3 カ国 (日本、ドイツ、フランス) のプレゼンがあり議論した。結果として、3 カ国の提案をまとめる形で規格案を立案していくことが合意されたとのこと。

次いで、主査より先日 (6/20) 開催された平成 30 年度技術・標準化委員会について報告があり、昨年度活動実績及び今年度活動計画が承認されたとのこと。

次いで、JIS B 0125-1 (油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第 1 部：図記号) の改正について討議した。ISO 規格の改正部分と JIS との比較作業を各委員で分担担当し、修正作

業を進めることとした。

次回開催：9月6日(木) 機械振興会館

空気圧流量測定分科会

日時 6月28日(木) 13:30~16:30

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 妹尾主査以下9名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO投票結果について、ISO/NP 6358-4：賛成7/反対2/棄権2、ISO/CD 6358-2：賛成9/反対0/棄権2、ISO/CD 6358-5：賛成5/反対3/棄権3、の結果になったとの報告があった。

次いで、先月(5/14-19)に開催された、ISO ロンドン国際会議の報告があった。特に、ISO 6358-4の有効コンダクタンスの規格は、日本から提案した規格で、DIS段階から投票を開始することになり、日本が原案を作成し提出することになった。

次いで、主査より先日(6/20)開催された平成30年度技術・標準化委員会について報告があり、昨年度活動実績及び今年度活動計画が承認されたとのこと。

次いで、ポケットブック改訂について、標準参考空気及びエクセルギーの改訂案を審議した。

次いで、JIS B 8372-3(空気圧-空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁-第3部：減圧弁の流量特性の代替試験方法)の改正について、前回に引き続きISO 6953-3原文と比較しながら原案修正作業を実施した。

次回開催：9月20日(木) 機械振興会館

* ISOの動き

(TC131)

ISO/FDIS 6099 Fluid power systems and components -- Cylinders -- Identification code for mounting dimensions and mounting types

~~~~~

標準化事業/規格事業

~~~~~

油空圧シール分科会小委員会

日時 6月5日(火) 13:30~16:30

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 南主査以下8名

事務局 前畑

議事

JFPS 1003(油圧シリンダ用パッキンの使用・

選定指針)の見直しについて討議した。パッキンの使用可能温度範囲及び最高使用圧力に関して、前回の指摘に対する修正案について検討した。今回の検討結果を次回シール分科会で報告し、ユーザー(機器メーカー)を含めて協議することとした。

次回開催：必要に応じて開催

油空圧シリンダ分科会

日時 6月8日(金)、13:30~16:30

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 渡部主査以下6名

事務局 前畑

議事

委員の交代があり、樫本元主査(甲南電機)から渡部新主査(日本シリンダ共同事業)に、河野委員(甲南電機)から赤松委員(甲南電機)に各々交代した。

次いで、平成29年度JIS原案作成公募区分Cに登録しているJIS B 8366-3(油圧・空気圧システム及び機器-シリンダー構成要素及び識別記号-第3部：標準ピストンストローク)及びJIS B 8366-4(同第4部：ピストンロッド先端形状及び寸法)の改正について、日本規格協会担当者にも参加頂き、審議した。今回の指摘事項を修正の上、規格調整として規格協会へ提出することとした。

次いで、前年度活動実績と今年度活動計画について主査より説明がなされ、分科会活動内容について確認した。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。計算式の誤記訂正、不鮮明な図の修正等の意見が出され、各委員からの意見を集約し本分科会のまとめとすることとした。

次回開催：9月7日(金)、機械振興会館

空気圧バルブ分科会

日時 6月21日(木) 13:30~16:30

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 大島主査以下4名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、主査より先日(6/20)開催された平成30年度技術・標準化委員会について報告があり、昨年度活動実績及び今年度活動計画が承認されたことの報告があった。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。審議終了し発行待ちであるJIS B 8376(空気圧用速度制御弁)に伴って速度制御弁に関する内容を修正する必要がある等、各委員からの意見を集約し本分科会のまとめとすることとした。

次いで、JIS B 8672-2（空気圧—試験による機器の信頼性評価—第2部：方向制御弁）に関して、対応国際規格（ISO 19973-2）の図及び本文が改正されているが、ISO規格の変更部分がJISのどの部分に対応するかを確認し、その後内容の見直しをしていくこととした。

次回開催：8月30日（木）機械振興会館

油圧フィルタ・作動油分科会

日時 6月29日（金）13：30～16：30

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 難波主査以下8名

事務局 前畑

議事

委員の交代があり、一ノ瀬元委員（SMC）から遠藤新委員に、富澤元委員（ボッシュ・レックスロス）から佐藤新委員に、各々交代された。

前回議事録の確認後、主査より先日（6/20）開催された平成30年度技術・標準化委員会について報告があり、昨年度活動実績及び今年度活動計画が承認されたとのこと。

次いで、今年度のテーマとして、JIS B 9933の改正およびISO 18413の新規JIS化について検討した。その結果、内容量の多いISO 18413の新規JIS化を先に着手し、目途が付いた時点でJIS B 9933の改正に着手することとした。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。各委員からの意見を集約し本分科会のまとめとすることとした。

次回開催：9月26日（水）機械振興会館

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会 水圧仕様技術調査WG（平30第2回）

日時 6月13日（水）15：00～17：00

場所 機械振興会館 6-60号会議室

出席者 黒須主査以下8名

事務局 宮川、大橋

議事

1. 現状水圧機器仕様調査

昨年度の総括報告に、各機器の不足項目や資料データ等を追記修正して7月24日までに提出する。次回委員会から検討を開始し、年内にまとめることとした。

2. ISO提案への取り組み

ADS国際標準化推進委員会の企業側作業部会として、ISO規格案作成作業を行うための大日程と方針、及びPart1～4までの規格名（仮）と大学

側WG委員を説明した。併せて、事前配布した油圧のJIS及びISO規格データを確認した。

これに基づいて企業側委員の担当を決め、8月中旬までの日本語原案作成に参加することとした。また、Part5以降の機器アイテム及びシステムに関する水圧規格化のニーズ等の意見交換を行った。

次回開催：8月8日（水）、機振会館 B3-7

技術委員会空気圧部会第548回特許分科会

日時 6月22日（金）12：00～17：00

場所 西宮市立勤労会館 第6会議室

出席者 井野幹事以下4名

事務局 吉田

議事

はじめに前回議事録の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について2件について引き続きウォッチングを継続することとした。3件については引き続き調査することとした。1件の調査を開始することとした。特許異議申立て及び無効審判・検討経過チェック表の記載について検討した。次回開催：7月27日（金）機振会館 6-61 会議室

技術委員会 水圧部会（平30年度第1回）

日時 6月29日（金）（13～）15：00～16：30

場所 日本アキュムレータ（株） 会議室

出席者 宮川部会長以下11名

事務局 大橋

工場見学会

部会開催前に13:00からの杉村社長挨拶の後、内田委員による工場概要、商品紹介などの説明を受け、3班に別れて工場見学を14:50まで行った。

議事

前回議事録の確認後、議事を進めた。

1. 市場調査（MR-G r）報告と検討

IFPEX2017出展総括として、来訪者へのアンケート調査の結果を市場マップに基づき目的（要望度合い）別、市場分野別にグラフ化した結果が報告された。意見交換により、さらに内容について深堀していくこととなった。

引き続き、内田委員よりフルードパワー以外の見本市の参観調査結果が報告された。

2. 広報PR（PR-G r）報告と今後

鳥居委員よりADSブログ更新実績の報告の後、会社紹介の継続、日常の話題など提案提出の依頼があった。続いてJFPA-H.P.の現状と改善案の説明があり、特にH.P.内での水圧情報へのアクセスのしやすさ改善、旧データの更新など手近なところから着手して行くこととなった。

次回開催：9月11日（火）機振会館

~~~~~  
広報・PR 事業  
~~~~~

第 121 回編集委員会 WG
日 時 6 月 14 日 (木) 15:00 ~ 17:00
場 所 機振会館 6-60 会議室
出席者 宮主査以下 7 名
事務局 大橋
議 事

1. VOL. 32, NO. 3 (夏号)、NO. 4 (秋号) 進捗
夏号は、昨日時点で全 20 記事 15 記事が校了し順調に進んでいるが、うち 2 記事は事情により延期する。納品は 7/M 予定。秋号はすでに入稿・校了が 2 記事ある。

2. VOL. 32 年間企画状況と記事提案
連載記事中、技術講座は「すべり軸受」と決まり、「ずいひつ」2 号分も執筆者が決まった。ミニ知識は「仮) 知っておきたい継手・ホースの知識」を計画中であり執筆者をあたる。

新年号から、IoT の年間特集として編集委員企業での取り組み状況を記事化する予定であり、「挑戦」「身近な」等の記事は今後の編集委員からの提案に期待する。

3. 機関誌のあり方検討
大学図書館への送付数は 4 校増やし 51 校となった今後も継続して拡大する。執筆要領の改訂検討については、案ができ次第、検討を開始する。
次回開催：・第 122 回 WG 9 月上旬として調整

・第 95 回委員会 2018 年 10 月 5~6 日

~~~~~  
振興対策事業  
~~~~~

空気圧本部会総会
日 時 6 月 5 日 (火) ~6 日 (水)
場 所 大和屋本店天鼓の間
出席者 湯原本部長以下 22 名
事務局 藤原、唯根
議 事

平成 30 年度空気圧本部会総会を大阪支部主催の下、本部会委員及び全国 7 支部の支部長等が参加し開催した。富田本部長の開会の挨拶の後に、平成 29 年度及び平成 30 年度の各支部の活動状況・活動予定について各支部長から報告があった。また、事務局から 5 月に発表した需要見通し及び最近の関連業界の経済動向等について詳細な説

明を行った。翌日はエリエールゴルフクラブ松山で懇親ゴルフ会を開催した。
次回開催：9 月 4 日 (火) 機振会館 6-64 会議室

シリンダ部会
日 時 6 月 14 日 (木) ~15 日 (金)
場 所 新日鉄住金株式会社八幡製鉄所
出席者 河井部会長以下 8 名
事務局 藤原、唯根
議 事

平成 30 年度シリンダ部会総会として新日鉄住金株式会社八幡製鉄所の見学と併せて開催した。八幡製鉄所の概要説明・DVD を視聴後、高炉工場一熱延工場をバスで移動を行い、高炉工場では銑鉄ができるまでの仕組みを詳細に説明頂き、トローピードカーに注ぎ込まれ次の工程に運ばれている様を見学することができた。残念ながら熱延工場はメンテナンス中となっており、施設案内のみとなった。工場視察終了後会議室を借りて部会を開催し、事務局から最近の経済状況等について説明を行った。翌日は筑紫ヶ丘ゴルフクラブにて懇親ゴルフ会を開催した。

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆ 新賛助会員のお知らせ
6 月 4 日付にて、下記の会社が賛助会員となりました。

マックス株式会社
東京都中央区日本橋箱崎町 6-6
常務取締役営業本部長 小鯛富雄

☆ 代表取締役の交代
(正会員)
東京計器 (株) から代表取締役の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

東京計器株式会社
(新 任)
代表取締役社長 安藤 毅
(退 任)
常勤最高顧問 脇 憲一

☆ 社名変更
(賛助会員)
日立工機 (株) から社名変更の連絡がありましたのでお知らせします。

(新社名)
工機ホールディングス株式会社

代表取締役社長執行役員 前原 修身

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

- ☆7月11日(水) 中小企業委員会
(場 所) 住友精密工業(株) 滋賀工場
- ☆10月11日(木) 西日本支部総会
理事懇談会
(場 所) 都ホテルニューアルカイク
- ☆10月12日(金) 西日本懇親ゴルフ会
(場 所) 西宮カントリー倶楽部
- ☆11月1日(木) ~6日(火) JIMTOF2018
(場 所) 東京ビッグサイト
- ☆12月21日(金) 第29回政策委員会
(場 所) J F P A会議室

*平成31年

- ☆1月16日(水) 年始会・第85回理事会
(場 所) 東京プリンスホテル(芝公園)
- ☆3月29日(金) 第30回政策委員会
(場 所) J F P A会議室
- ☆4月19日(金) 第86回理事会
(場 所) 調整中

~~~~~  
6月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

- (国際交流事業)
- 国際委員会
開催日 6月18日(月)
出席者
委 員 北畠多門(SMC)
講演参加 磯江敏夫(SMC)
委 員 小坂薫夫(イハラサイエンス)
" 相馬展人(KYB)
" 山崎真人(廣瀬バルブ工業)
" 原沢 直季(コガネイ)
" 木挽一彦(三菱電線工業)
" 宮坂 篤(油研工業)
" 渡部圭次(経済産業省)
アドバイザー 工藤勉(経済産業省)

- (標準化事業/ISO対策事業)
- 平成30年度技術・標準化合同委員会
開催日 6月20日(水)
出席者

- 標準化委員会委員長
石川孝(TAIYO)
- 技術委員会委員長
安木秀己(油研工業)
- 部会長
" 眞田一志(横浜国立大学)
" 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス)
" 伊藤和巳(KYB)
" 菊池宏(CKD)
" 宮川新平(JFPA)
- 委 員 齊藤理人(日本アキュムレータ)
" 町田哲治(東京計器)
" 渡辺敏之(TAIYO)
" 加藤弘毅(KYB)
" 渡部文雄(日本シリンダ共同事業)
" 板井淳一(横浜ゴム)
" 大島雅之(SMC)
" 國崎雄嗣(CKD)
" 難波竹己(日本ポール)
" 南暢(日本バルカー工業)
" 竹内則久(オリオン機械)
" 大森肇(瓜生製作)
" 三浦孝夫(アトラスコプコ)
" 妹尾満(SMC)
" 井之上紀章(川崎重工業)
" 堀内均(ダイキン工業)
" 佐藤毅彦(東京計器)

- 空圧コンタミ分科会
開催日 6月15日(金)
出席者
主 査 三浦孝夫(アトラスコプコ)
委 員 大嶽康行(CKD)
" 田中崇行(SMC)
" 佐々木政彰(アズビルTACO)
" 竹内則久(オリオン機械)
" 榊田充隆(コガネイ)
" 高橋隆通(甲南電機)

- 油圧システム分科会
開催日 6月22日(金)
出席者
主 査 町田哲治(東京計器)
委 員 伊藤隆(KYB)
" 山本裕(ボッシュ・レックスロス)
" 中川幸隆(川崎重工業)
" 城ヶ崎正生(豊興工業)
" 柏野智(油研工業)
" 渋谷文昭(東京計器)
アドバイザー 大野淳一(JFPA)

空気圧システム分科会

開催日 6月27日(水)

出席者

主査 増尾秀三 (CKD)

委員 張護平 (SMC)

〃 佐々木政彰 (アズビル TACO)

〃 上間丈司 (クロダニューマティクス)

〃 門間崇宏 (コガネイ)

〃 神戸孝典 (甲南電機)

アドバイザー 大野淳一 (JFPA)

空気圧流量測定分科会

開催日 6月28日(木)

出席者

主査 妹尾満 (SMC)

委員 大竹崇 (CKD)

〃 佐々木政彰 (アズビル TACO)

〃 進藤克己 (クロダニューマティクス)

〃 斉藤悠 (コガネイ)

〃 浅里信之 (ニッタ)

〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

〃 香川利春 (東京工業大学)

〃 眞田一志 (横浜国立大学大学院)

(標準化事業/規格事業)

油空圧シール分科会小委員会

開催日 6月5日(火)

出席者

主査 南暢 (日本バルカー工業)

委員 宮本博夫 (NOK)

〃 中尾雅司 (NOK)

〃 寺島剛資 (エア・ウォーター・マッハ)

〃 但木郁夫 (荒井製作所)

〃 太田正貴 (阪上製作所)

〃 木挽一彦 (三菱電線工業)

〃 假屋隆広 (三菱電線工業)

〃 高牟礼辰雄 (JFPA)

油空圧シリンダ分科会

開催日 6月8日(金)

出席者

主査 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)

委員 吉田泰裕 (CKD)

〃 東川智信 (TAIYO)

〃 塩田浩司 (コガネイ)

〃 赤松直人 (甲南電機)

特別委員 古田豊 (日本規格協会)

空気圧バルブ分科会

開催日 6月21日(木)

出席者

主査 大島雅之 (SMC)

委員 石毛浩二 (クロダニューマティクス)

〃 田路渡 (甲南電機)

〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 6月29日(金)

出席者

主査 難波竹己 (日本ポール)

委員 三好真介 (MORESCO)

〃 遠藤剛 (SMC)

〃 佐藤泰路 (ボッシュ・レックスロス)

〃 水上敬 (リオン)

〃 山田高志 (大生工業)

〃 相場宣慶 (東京計器)

〃 大塚宏行 (油研工業)

(技術調査事業)

技術委員会 水圧仕様技術調査 WG (平 30 第 2 回)

日時 6月13日(水)

出席者

主査 黒須 寛 (イハラサイエンス)

副査 大林義博 (KYB)

委員 井口 務 (廣瀬バルブ工業)

〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)

〃 細井耕平 (堀内機械)

〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)

〃 鈴木敏充 (イハラサイエンス)

〃 鳥居良介 (阪上製作所)

技術委員会空気圧部会第 548 回特許分科会

開催日 6月22日(金)

出席者

幹事 井野雅康 (SMC)

委員 河野喜之 (甲南電機)

〃 今野英俊 (コガネイ)

〃 細田一也 (CKD)

技術委員会 水圧部会 (平 30 年度第 1 回)

開催日 6月29日(金)

出席者

部会長 宮川新平 (JFPA)

委員 大林義博 (KYB)

〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)

〃 黒須 寛 (イハラサイエンス)

〃 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

〃 鳥居良介 (阪上製作所)

〃 細井耕平 (堀内機械)

〃 高橋永治 (マルヤマエクセル)
〃 石丸典幸 (豊興工業)
〃 船坂 新 (川崎重工業)
〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)

〃 村上博昭 (光陽精機)
〃 吉富英明 (南武)
〃 沢辺 充 (三尾製作所)
〃 小泉 清 (油研工業)

(広報・PR 関連事業)

第 121 回編集委員会 WG

開催日 6 月 14 日 (木)

出席者

主 査 宮 能治 (KYB)
委 員 神戸孝典 (甲南電機)
〃 小辻一雄 (コガネイ)
〃 永井茂和 (SMC)
〃 東川智信 (TAIYO)
〃 松島嘉則 (阪上製作所)
〃 諸橋 博 (東京計器)

(振興対策事業)

空気圧本部会

開催日 6 月 5 日 (火) ～6 日 (水)

出席者

本部長 湯原真司 (CKD)
副 〃 小倉浩史 (SMC)
幹 事 中村賢次 (ニューエラー)
会 計 長谷川靖 (甲南電機)
委 員 川端啓之 (アズビル TACO)
〃 安藤 進 (オリオン機械)
〃 大塚高信 (クロダニューマティクス)
〃 富田英樹 (コガネイ)
〃 池 燦圭 (TAIYO)
〃 澤田啓支朗 (タイオンカシヨナル)
〃 柚木弘司 (日本精器)

以下、空気圧本部会支部総会出席者

広島支部

支部長 飯島隼人 (コガネイ)
幹 事 正木人平 (関西オリオン)
委 員 上野彰大 (CKD)
〃 中本賢一 (甲南電機)
〃 上田 博 (SMC)

東北支部 海老原朗 (SMC)

東京支部 松沢政志 (東日本オリオン)

神奈川支部 海野敦史 (コガネイ)

名古屋支部 大曾根義和 (SMC)

大阪支部 竹村 光 (ニューエラー)

九州支部 緒方昭典 (SMC)

シリンダ部会

開催日 6 月 14 日 (木) ～15 日 (金)

部会長 河井 崇 (KYB)

委 員 渡辺和功 (大垣鉄工所)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<6 月>

5 日 (火)
・標準化 (委) 油空圧シール分科会小委員会
5 日 (火) ～6 日 (水)
・振興対策 空気圧本部会
8 日 (金)
・標準化 (委) シリンダ分科会
14 日 (木) 編集 (委)
14 日 (木) ～15 日 (金)
・振興対策 シリンダ部会
15 日 (金)
・ISO (委) 空気圧コンタミ分科会
18 日 (月) 国際 (委) ・講演会
20 日 (水)
・ISO (委) 技術・標準化合同委員会
21 日 (木)
・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会
22 日 (金)
・ISO (委) 油圧システム分科会
・技術 (委) 空気圧部会第 536 回特許分科会
27 日 (水)
・ISO (委) 空気圧システム分科会
28 日 (木)
・ISO (委) 空気圧流量測定分科会
29 日 (金)
・標準化 (委) フィルタ・作動油分科会
30 日 (金)
・技術 (委) 水圧部会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
